

ロイロノート・実験の様子を交流

H26 10月 藤城小学校 4年

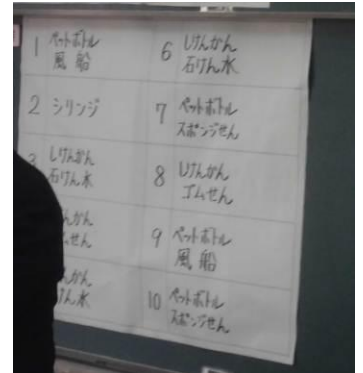
1. 教科・単元

理科・温度を変えて体積の変化を調べよう

2. 活用のポイント

空気の温度が高くなると、体積がどのように変化するかを調べる方法をグループでそれぞれに考え、実験を行った。各班が異なる実験をするため、実験の様子を交流するために言葉だけで説明するよりも実験の様子を撮影したのを見せた方が実験結果が伝わりやすい。

今回の授業では、撮影した動画を「ロイロノート」のトンネル機能を使ってグループ間で送信し、どのグループもすべての実験の結果を見られるようにした。



それぞれの班の実験方法



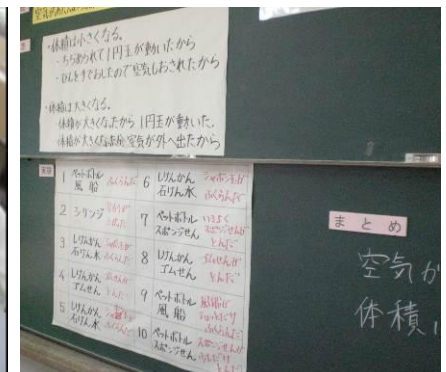
実験の様子を撮影し記録する。



見た人に結果が分かりやすいよう、工夫して撮影する。



ロイロノートの機能を使い、撮影した動画を共有する。



他のグループの実験結果とも関係付けながら考察し、まとめる。

3. 実践をした感想

10グループで5つの実験を行った。タブレット端末で撮影する際、実験結果がわかりやすいように撮影していた様子から子ども達は伝える相手を意識していたのではないかと考えられる。そしてそれぞれの実験を静止画ではなく動画で確認したことで、実験結果がより実感できるものとなった。

理科では複数の実験結果から考察を導き出すことは重要なことであるが、複数の実験を45分の学習時間の中で行い、実験結果を確認することは時間的に困難である。しかし、ロイロノートを使うとこれらのことが可能となる。ロイロノートを使って他の情報を獲得することは効果的な学びにつながるものと感じた。